山口市立徳佐小学校 校長室だより ショウ ガッ コウ (笑顔で楽しく考える)



徳佐 ※ 笑楽考

NO11 令和3年9月29日 文責 山田英二

全国学力学習状況調査結果より

先日、5月に実施した全国学力学習状況調査(6年生対象)結果が公表されました。 以下の表の数値は、山口県の平均正答率で、国語、算数とも全国平均と同程度でした。

国語 64 算数 69

以下、本校の結果をお知らせします。

<全体の結果から>

- ○本校児童の国語・算数の平均正答率は、県平均よりそれぞれ10ポイント、6 ポイント程度高く、国語、算数とも基礎基本の学力は身についており、よい結果と言えます。
- 〇国語、算数とも昨年度と同程度の正答率で、全体として学力のばらつきも少なくまとまっています。

<国語科の課題>

- 〇これまでと同様に条件付き記述式の問題や複数の事柄を関連づけて考えることに課題が見られました。 県や全国と同様に今回正答率が低かったものすべてが記述式条件作文問題でした。
 - •目的に応じ、文章と図表を結びつけて必要な情報を見つける。
 - 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する。など
 - ○誤答から考えられることは、何を答えとして求められているのかが十分読み取れていない(理解されていない)ために、文末表現が問いの答えとしての書きぶりにあっていない (問いに対する解答が呼応していない)解答が目立ちました。
 - ○また、条件を正しく読み取れてなかったり、解として求められている必要な部分はおおよそ捉えられているが、順序よく結びつけたり言い換えたりすることなどの書き表し方(伝えるための文の構成力)に課題が見られました。
- 〇言語事項(漢字含む)については、主述関係、修飾語と被修飾語との関係を捉えることにやや課題が見られました。中学年から、授業の中で折に触れ、意識的にに主述、修飾語等を指導を繰り返し指導する必要があります。

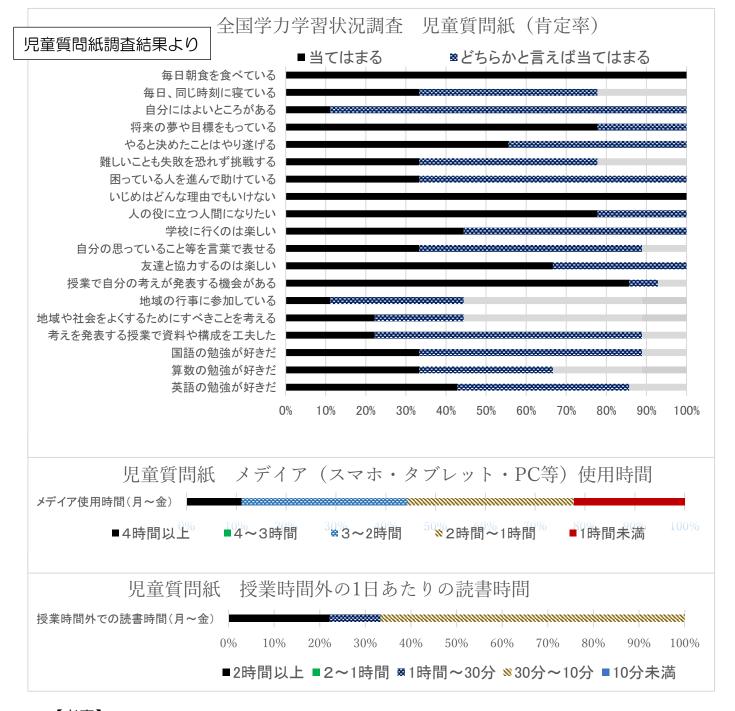
<算数科の課題>

- ○やはり国語と同様に記述式の問題に課題(4問中2問)が見られました。
 - 二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方を書く。
 - ・帯グラフから、割合の違い一番大きい項目を選び、その項目と割合を書く。
 - ○考え方は合っているのですが、解として求められている言葉が抜けていたり不足していたり、また、算数用語を 適切に使っていなかったりしたための誤答が多くみられました。(言葉による説明がないための間違いなど) 割合の記述説明問題では、例示してある説明をもとに同じように説明することはよく出来ていました。
- ○速さや割合に関する問題に課題が見られました。
 - 二つの速さを求める式の意味について、正しいものを選ぶ。
 - ・8人に4Lのジュースを等しく分けるときの、一人分の量を求める式・答え。

<今後の取組>

どの教科においても複数の事柄を関連づけて考えさせること、説明させることに意識的に取り組ませていく必要があります。これは、単にテスト対応ということではなく、先が予測困難で、情報があふれている現代社会においては、子どもたちに身につけさせるべき大切な力の一つです。

そして、子どもたちにこのような力を育むには何よりも普段の授業において、そのような力を育む課題設定や発問を授業の中で仕組んでいるか(一問一答ではなく思考させる授業の創造)が鍵になるのではないかと考えています。要は、子どもたちに身につけさせたい力、内容を明確にして1時間1時間の授業を充実させることがポイントです。このようなことを、この調査問題を解いたり、結果分析をしたりしながら、教職員全員で確認したところです。今回の結果を踏まえて、授業改善に取り組んでいきたいと思います。



【考察】

- 〇今年度の6年生は、全員、夢や目標をもっていると回答しています。また、「自分にはよいところがある」についても、全員肯定的な回答をしています。これまでの自己肯定感を高める取組の成果が現れてきているようです。また、このことが、6年生の日々の学校生活でも見られる前向きな姿勢にも表れており、国語や算数のよい結果にもつながっているのではないかと捉えています。自分の能力を最大限に発揮している人は、やはり目標を持ち、自分に自信を持ち、心が安定しています。引き続き、子どもたちに自分のよさに気づかせ、自信をつけさせてやりたいと考えています。
- ○地域に対しては概ねよい意識を持っていますが、昨年度、また今年度もコロナ禍のため地域行事等がなくなっており、子どもたちの地域行事への参加や地域や社会に対する参画意識(「地域・社会をよくするためにすべきことを考える」)が下がっています。引き続きふるさとを愛する児童の育成に努めたいと思います。
- ○家庭学習時間、メデイア使用時間、読書時間で個人差が大きいようです。読書時間を増やし、メデイア使用時間を減らす取組を家庭と連携しながら進めていく必要があります。2 学期に「家庭学習週間 や読書週間」等の取組を行いたいと考えています。ご協力をよろしくお願いします。